



共成



昭島市立共成小学校
校長 森本 弘子
令和5年5月31日

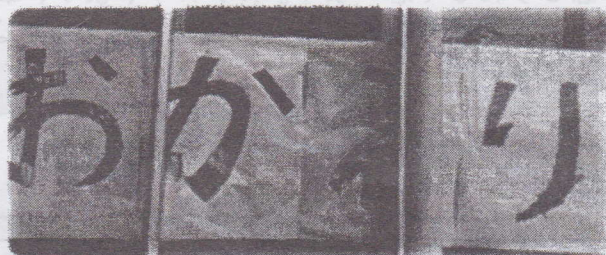
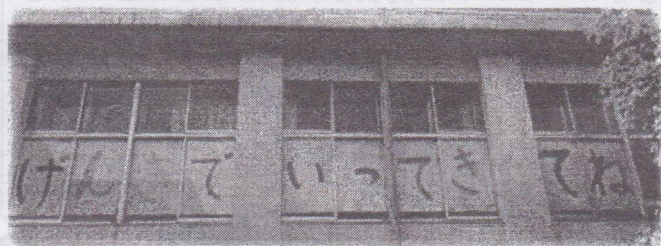
学校ホームページ <http://www.city.akishima.ed.jp/~kyosei/>

ひとつの言葉を大切に

副校長 鳥海 剛

5月18日～20日まで6年生が日光移動教室に行ってきました。2日目は、午後から雨に降られながらも、全ての行程を実施することができました。保護者の皆様には、当日までの準備や健康管理などたくさんのご協力をいただきありがとうございました。

そして、出発日の朝には、1年生からの「げんきでいってきてね」の文字が窓一面に貼られていました。帰りには、若草学級からの「おかえり」が貼られていました。それを見た6年生が、とても嬉しそうにしていたのが印象的でした。いつもと違う環境に出発する6年生の心に、元気を与えることができたと思います。



6月は、人と人とのふれあいを大切にする「ふれあい月間」です。友達と遊んだり、勉強をしたり、ふれあう形は様々です。4月は、6年生が1年生の朝の生活をお手伝いしてくれました。2年生は、1年生に学校の教室を紹介してくれました。5月に3・4年生は交通安全教室で警察の方に教えていただきました。どんな場面でも大切なことは、「言葉」の掛け方です。「言葉」の声の大きさ・速さ・高さによって、相手に与える印象も変わってきます。職員室の前の廊下に、北原白秋さんのこのような詩が掲示されています。ひとつの言葉によって、傷付くこともあれば、励まされることもあります。たった一言でも、相手に自分の気持ちが伝わります。日頃から、伝える言葉をよく考えて、大切にしてほしいと思います。

ひとつの言葉を 美しく	ひとつの言葉を 大切に	やさしい言葉は やさしい心	きれいな言葉は きれいな心	ひとつの心を もっている	ひとつの言葉は それぞれに	ひとつの言葉で 泣かされる	ひとつの言葉で たのしくわらい	ひとつの言葉で 心がいたむ	ひとつの言葉で あたまがさがり	ひとつの言葉で なかなかおり	ひとつの言葉で けんかして	『ひとつの言葉』 北原 白秋
----------------	----------------	------------------	------------------	-----------------	------------------	------------------	--------------------	------------------	--------------------	-------------------	------------------	-------------------

始業式の際、共成小の子供たちに、「名前を覚えてくださいね！」と声を掛けました。今では、「鳥海副校長先生、こんにちは！」と声を掛けてくれる子がたくさんいます。ちょっとした言葉ですが、とても心が温かくなり嬉しくなりました。ちょっとしたことでも、共成小学校のみんなで声を掛け合い、言葉を大切にしていけるとよいと思います。